

2012年4月27日

アジアにおける新データセンターの提供開始について

NTTコミュニケーションズ(略称:NTT Com)は、2012年4月27日にシンガポールで4つ目となる「シンガポール セラングーン データセンター」を、2012年4月26日にマレーシアで3つ目となる「マレーシア サイバージャヤ 3 データセンター」を提供開始します。本データセンターは、NTT Com がグローバルに展開するクラウドサービスの主要基盤のひとつとなります。

NTT Com は、2011年10月に策定した「グローバルクラウドビジョン」のもと、ネットワーク/データセンターからクラウド/アプリケーションまでを、エンド・エンドかつワンストップで提供するグローバルシームレスなサービスの展開に積極的に取り組んでいきます。

1. 背景

シンガポールとマレーシアは、地震、津波、台風などの自然災害の影響が極めて少ない地域特性から、アジア地域のシステムハブやディザスタリカバリ拠点として注目されています。

特にシンガポールは、香港とならぶアジア地域の経済活動の中核であり、多国籍企業のお客さまが集中しています。なかでもIT企業や金融機関などのお客さまが多く、24時間365日業務を継続するだけでなく、非常に高スペックな通信インフラが求められています。

そのような高い要求水準と増加する需要に応えるべく、シンガポールではシンガポール証券取引所のデータセンターの近くに、マレーシアでは首都クアラルンプール郊外の総合開発地域マルチメディア・スーパーコリドーの中核都市サイバージャヤに、新たなデータセンターを建設しました。

2. シンガポール セラングーン データセンターの特長 (詳細は別紙1参照)

(1) 高信頼のデータセンター専用ビル

自社で設計し建設したデータセンター専用ビルであり、電源設備などの各種設備を完全冗長化することにより停電などの障害発生に備えます。より高度なセキュリティ運用など、お客さま要望に合わせたカスタマイズ提供も可能です。

(2) 業界トップクラス^{*1}の低遅延で日本-シンガポール間を接続

NTT Com の回線に加え、他社回線の利用も可能なキャリア・ニュートラルポリシーの採用により、異キャリア、複数ルートによる高い冗長性が確保できます。特に、日本-シンガポール間は、NTT Com が所有する、高信頼・低遅延の大容量光海底ケーブル「Asia Submarine-cable Express」(ASE)^{*2}を利用することで、高速で高信頼のネットワーク環境を実現します。(別紙3参照)

(3) 最先端のグリーン性能

シンガポール政府建設局が定める「グリーンマーク」^{*4}における最高ランクのプラチナアワードを商用データセンターでは初めて取得しました。また、米国のLEED^{*5}認証を取得予定です。

(4) 仮想ネットワーク^{*3}を活用した新クラウドサービスを提供予定

今後提供予定の仮想ネットワークを活用した新たなクラウドサービスをご利用いただくことにより、クラウドサービスのリソースを国内外のデータセンターをまたいで拡張したり、災害やパンデミック発生時にオンデマンドかつ容易に遠隔地へデータ移行させることが可能です。(別紙4参照)

3. マレーシア サイバージャヤ 3 データセンターの特長（詳細は別紙 2 参照）

(1) ディザスタリカバリ拠点などに最適の環境

電源設備などの冗長化に加え、万全なセキュリティを備えています。総面積 63,000 m²にわたる広大な敷地内にはお客さまが利用可能なオフィスビルも併設しており、またマレーシアの安価な電気料金からくるご利用しやすいサービス料金から、ディザスタリカバリ拠点、オフショアサイトとしてのご利用に最適です。

(2) 高信頼・低遅延のネットワーク環境

新たに接続される ASE を利用することで、マレーシアでも NTT Com の国際 IP バックボーンを利用した高速・大容量なインターネット接続などが、今まで以上に低遅延で信頼性の高い国際ネットワークとして利用できます。

(3) 最先端のグリーン性能

マレーシアグリーンビルディング指標(GBI)^{*6}および、LEED 認証を取得予定です。

4. 提供開始日

シンガポール セラングーン データセンター： 2012 年 4 月 27 日

マレーシア サイバージャヤ 3 データセンター： 2012 年 4 月 26 日

5. ご利用事例

先進的な光学技術を軸に、医療と情報通信の領域でグローバルに事業を展開する HOYA 株式会社 HOYA グループ情報システム責任者 近安理夫様より、次のような評価をいただきました。

「グローバル共通の ICT 基盤におけるアジアのハブ拠点として、高い信頼性とフレキシブルなネットワーク環境を持つシンガポール セラングーン データセンターの利用を決定しました。NTT Com の、アプリケーション、クラウドからネットワークまでをグローバルシームレスにワンストップ提供することができる能力は、当社のグローバル事業拡大のためのパートナーとしてふさわしいと考えています。」

*1: 2012 年 4 月 1 日現在の公開値に基づく自社調べによる。

*2: 2012 年夏より提供開始予定。

*3: OpenFlow などの技術を活用し、システム構成変更時の変更作業がオンデマンドかつ柔軟に可能となるネットワーク

*4: グリーンマーク: シンガポール政府の国家開発省の機関である建設局 BCA(Building & Construction Authority)が認定する、建築ビルの環境配慮に対する評価制度。

*5: LEED (Leadership in Energy and Environmental Design): 全米グリーンビルディング評議会(USGBC)が提唱したプログラムで、新規の商業計画において建物と敷地の環境性能を評価する格付制度

*6: GBI(Green Building Index): マレーシアにおける建築ビルの環境配慮に対する評価基準。

別紙 1 「シンガポール セランゲーン データセンター」の仕様

所在地	シンガポール セランゲーン チャンギ国際空港から車で 20 分 / 市街地より車で 20 分	
建物	サーバールーム面積	約 5,000 m ² (2,500 ラック相当)
	構造	鉄筋コンクリート造 5 階建
	床積載耐荷重	1,500kg/m ²
電力設備	受電方式	2 系統受電
	非常用発電装置	ディーゼル発電機 N+1 冗長構成 24 時間以上無給油運転可能
	UPS	N+1 冗長構成 2N 構成も対応可能 バッテリー保持時間 15 分以上(スタティック UPS)
	供給電力	最大 12kVA/ラック
空調設備	空調方式	水冷式 N+1 冗長構成 二重床下吹出し
防火設備	火災検知 消火設備	煙検知装置 ガス消火設備、予作動式スプリンクラーを配備 消火器配備
通信環境	コネクティビティ	マルチキャリア対応 キャリア・ニュートラル データセンター間コネクティビティ利用可能
セキュリティ	入館・入室方法 セキュリティ設備 監視装置	IC カード+セキュリティゲート+生体認証による入室 監視カメラ、ラック個別施錠 24 時間 365 日警備員常駐 金融機関などのお客さまが必要とする高セキュリティカスタマイズが可能 TVRA* ISMS/ISO27001 (取得予定) SS507** (取得予定)
グリーン ICT	グリーン施策	高効率空調機、LED 照明、自然光・リサイクル材採用、太陽光発電 サーバールーム内の最適なエアフローマネジメントの実施 バッテリー不要なロータリーUPS の利用により、有害物質の廃棄を抑制
	グリーン認証	BCA グリーンマーク・プラチナ LEED (取得予定)
Tier レベル***	Tier III ~ Tier IV	

* TVRA (Threat, Vulnerability and Risk Assessment) シンガポール政府が定めるテロ等による攻撃から建物・建造物および人命・財産を守るための建築基準

** シンガポール政府が定める災害、パンデミック等に備える事業継続計画 (BCP) 基準

*** 米国データセンター業界団体 Uptime Institute, Inc. による "Tier Classification Define Site Infrastructure Performance" に規定する主な評価基準に基づいた、当社の自己評価。



別紙 2 「マレーシア サイバージャヤ3 データセンター」の仕様

所在地	マレーシア サイバージャヤ クアラルンプール国際空港から車で 30 分	
建物	面積	サーバールーム面積: 約 1,700 m ² (500 ラック相当) オフィス棟: 約 5,000 m ²
	構造	サーバー棟: 鉄筋コンクリート造 3 階建 オフィス棟: 鉄筋コンクリート造 4 階建
	サーバールーム 床積載耐荷重	1,000kg/m ²
電力設備	受電方式	2 系統受電
	非常用発電装置	ディーゼル発電機 N+1 冗長構成、2N 構成も対応可能 24 時間以上無給油運転可能
	UPS	N+1 冗長構成 2N 構成も対応可能 バッテリー保持時間 20 分
	供給電力	標準 3kVA/ラック 最大 8kVA/ラック
空調設備	空調方式	空冷式 N+1 冗長構成 二重床下吹出し
防火設備	火災検知 消火設備	煙検知装置 ガス消火設備 消火器配備
通信環境	コネクティビティ	マルチキャリア対応 キャリア・ニュートラル データセンター間コネクティビティ利用可能
セキュリティ	入館・入室方法 セキュリティ設備 監視装置	IC カード+セキュリティゲート+生体認証による入室 監視カメラ、ラック個別施錠 24 時間 365 日警備員常駐 金融機関などのお客さまが必要とする高セキュリティカスタマイズが可能 ISMS/ISO27001 (適用予定) PCIDSS* (取得予定)
グリーン ICT	グリーン施策	高効率空調機、LED 照明、再生水利用、太陽光発電 サーバールーム内の最適なエアフローマネジメント および CO2 コントロールの実施
	グリーン認証	マレーシアグリーンビルディング指標(GBI) LEED (取得予定)
Tier レベル	Tier III TIA-942**	

* PCIDSS(Payment Card Industry Data Security Standards):加盟店やサービスプロバイダにおいて、クレジットカード会員データを安全に取り扱う事を目的として策定された、クレジットカード業界のセキュリティ基準

**TIA(Telecommunications Infrastructure Standard for Data Centers):米国通信工業会にて 2005 年 4 月に発行されたデータセンター用設計規格

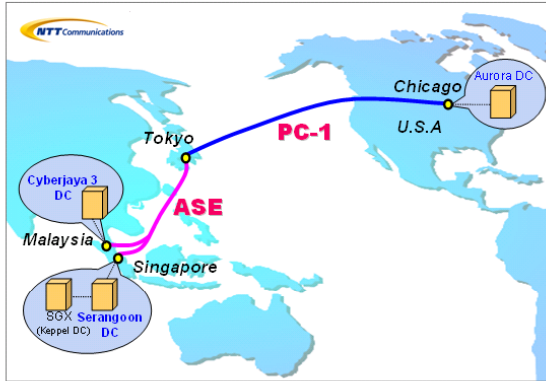


高速・高信頼・低遅延ネットワーク環境

Global ICT Partner
Innovative. Reliable. Seamless.
NTT Communications

シンガポール～日本（東京）、シンガポール～アメリカ（シカゴ） 低遅延で信頼性の高い専用サービスを提供

- 【接続先】 金融商品取引所や金融機関の集まるデータセンターに接続可能
- 【信頼性】 台湾南沖ケーブル故障頻発地域を回避した安心なルート設計
- 【拡張性】 日本～米国間のPC-1ケーブルと組合わせて米国向けも低遅延を実現



【サービスメニュー】

提供サービス	国際イーサ専用線
提供対地	東京、シンガポール、シカゴ相互間 (低遅延でない専用線は従来通りの提供)
提供帯域	50M, 100M, 150M, 200M, 250M, 300M, 450M, 600M, 750M, 900M, 1G
バックアップ	別ケーブル(C2C, TGN-IA, PC-1南等)により提供可能
SLA	応相談

※ケーブルルートはイメージです。
 ※ASEは「シンガポール セラנגーン データセンター」および「マレーシア サイバジャヤ3 データセンター」と2012年夏以降に接続予定です。
 ※Aurora DC: CME(Chicago Mercantile Exchange: シカゴ商品取引所)が2012年2月に金融業界向けに開設したデータセンター

仮想ネットワークを活用したグローバルクラウドサービス

Global ICT Partner
Innovative. Reliable. Seamless.
NTT Communications

- ICTリソースをデータセンター内・データセンター間で柔軟に拡張・移動
- グローバルに展開する各種ICTリソースを一元的に管理・制御

